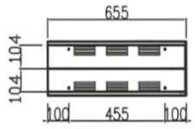
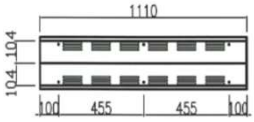
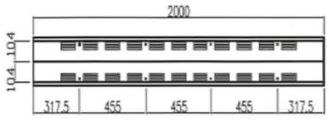
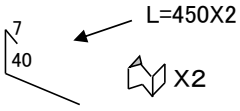
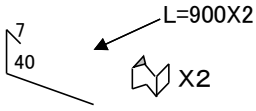
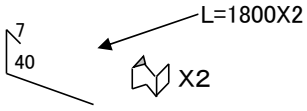
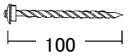
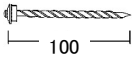
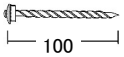
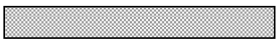
スピカBK（平板瓦用換気棟）《施エマニュアル》

平板瓦用　自然換気棟

産業技術研究所防水性能試験
29産総常窯　第2-45号
107

☆仕様

材質：ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑｶﾗｰ鋼板　　標準色：ﾌﾞﾗｯｸ、ｳｯﾃﾞｨｰﾌﾞﾗｳﾝ、ｸﾞﾘｰﾝ 梱包：１ケース１本入り

品番	YY3001BK　1.5尺タイプ	YY3002BK　3尺タイプ	YY3003BK　6尺タイプ
換気棟本体			
捨水切・捨水切用ｴﾝﾄﾞｷｬｯﾌﾟ			
ステンレスコーススレッド	 X　5本（1本予備）	 X　7本（1本予備）	 X　9本（1本予備）
野地板開口寸法	 L=450	 L=900	 L=1800
有効開口面積	108㎠／本	216㎠／本	396㎠／本

■　換気口は天井面積の　1／1，600　吸気口は天井面積の　1／900　を 設計基準として設置本数を決定します。
（住宅金融支援機構の小屋裏換気基準）

※施工上のご注意及び本製品使用地域について

- 換気棟以外の施工要領については屋根材の施工説明書を参考にしてください。
- 換気棟を踏みつけたり座ったりしないでください。破損や変形により雨漏り等の原因となります。
- 換気棟を切断しないでください。又、割付や長さ調整は棟包で行ってください。
- 換気棟は分解しないでください。組み直したり改造はズレ等で雨漏りの原因となります。
- 屋根勾配は3寸～6寸勾配の範囲でご使用ください。
- 屋根材は平板瓦で使用出来ます。
- 積雪30cm以下にて使用してください。
- 木下地や換気部材を施工する時は、あらかじめドリルで下穴（3mm）を開けて屋根材が割れるのを防止してください。

又、下記の条件下においては、使用鋼板の耐食性を著しく低下させ、錆の発生及び促進させる可能性がありますので、ご使用時にはご注意願います。

- 塩害・亜硫酸ガス・コンクリート・モルタル等アルカリ性物質などの影響がある場合。
- 銅・鉛・合金類等、異種金属を使用した取付金具・付属物との接合がある場合（電食による腐食発生）。
- 銅・鉛等の物質を含有した薬剤処理物（銅系防蟻処理木材など）との長期接触がある場合。
- シンナーなど有機系溶剤が付着する場合。
- 湖沼・河川・沿岸部などの周辺で常に水しぶきを浴びたり、雨露などで水分に接している場合や吸湿物との常時接触及び接合する場合（濡れたままの状態）。

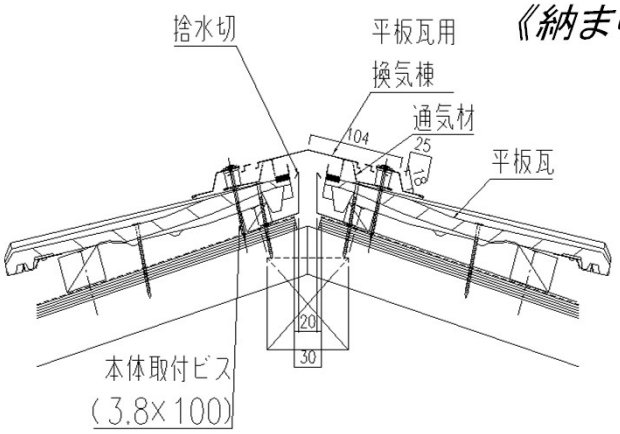
施工基準

- 設計者と十分打合せの上ご使用ください。
- 施工前に部品、開口部の位置を十分ご確認ください。
- 施工は、必ず専門業者が行ってください。

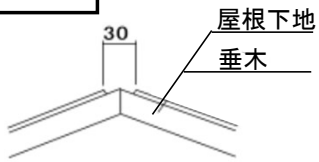
hauseco
株式会社ハウゼコ
〒542-0081　大阪市中央区南船場2-10-28　NKビル6F
T 06-4963-8266　F 06-4963-8267
WWW.hauseco.jp

☆施工手順

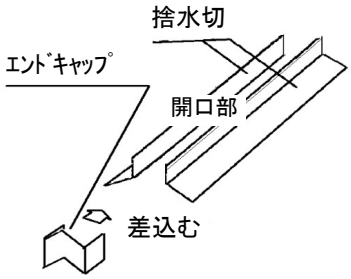
《納まり例》

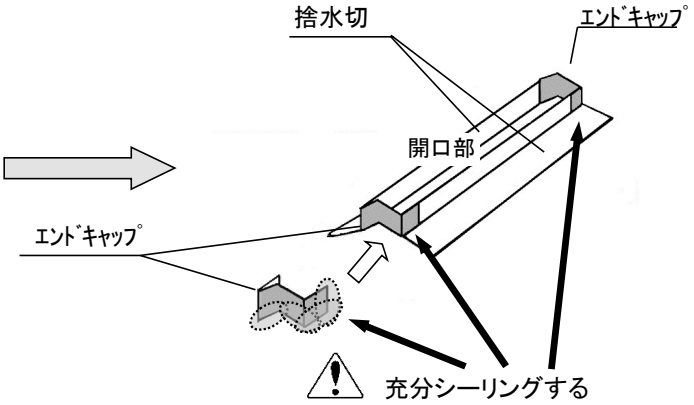


1. 開口部を開ける



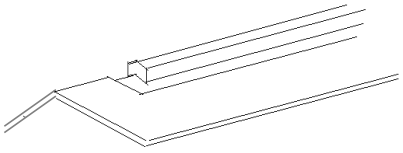
2. 捨水切を加工・取り付ける

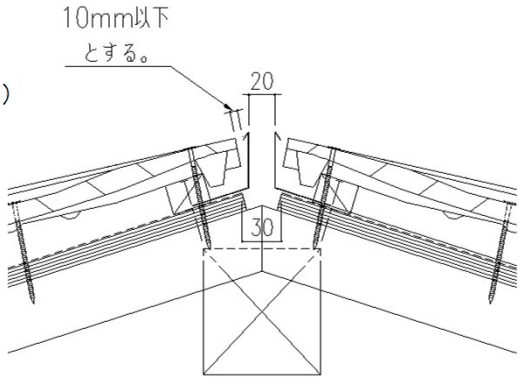




3. 屋根材を葺く

屋根材(平板瓦)を施工し、最上段を捨て水切に合わせて
切断してください。 **(捨水切との間が10mm以下になるようにしてください。)**
防水ｺﾞﾑが屋根と接触していることを確認してください。



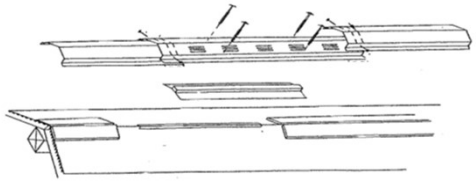


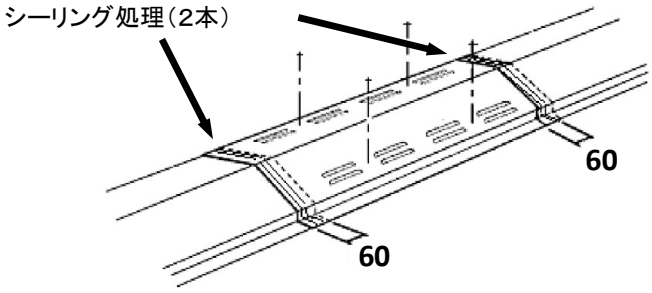
《換気棟の取付》

換気棟は開口部の中央に合わせて付属の取付ビスで取付ける。

4. 換気棟を取り付ける

換気棟(本体)の取付穴は455mmピッチになっています。
取付の際は、垂木に合せて施工を行ってください。

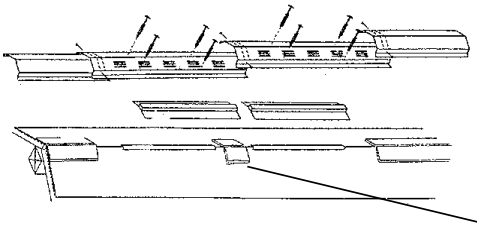




・重ね寸法は60mm確保してください。
・重ね部は充分シーリングしてください。
・必ず同梱のステンレスコーススレッドをご使用ください。

※ 換気棟を連続使用する場合

換気棟を連続使用の場合は重ね合わせとし、ジョイント部に次の換気棟を被せて釘又はビスで
固定してください。



・重ね寸法は60mm確保してください。
・重ね部は充分シーリングしてください。
・必ず同梱のステンレスコーススレッドをご使用ください。
・開口部と開口部の間は150mm離してください。

笠木 15～18mm×90mm (L=100mm)